

船舶事故調査報告書

平成29年9月21日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	乗揚
発生日時	平成29年4月12日 18時46分ごろ
発生場所	愛媛県松山市津和地島南東方沖 油トリ瀬灯標から真方位145° 1.3海里付近 (概位 北緯33° 57.4′ 東経132° 31.7′)
事故の概要	貨物船BL COSMOSは、北東進中、干出岩に乗り揚げた。
事故調査の経過	平成29年4月13日、主管調査官（広島事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報	
船種船名、総トン数	貨物船 BL COSMOS（パナマ共和国籍）、11,703トン
船舶番号、船舶所有者等	9309679（IMO番号）、AZURE OCEAN MARITIME S. A.
乗組員等に関する情報	船長（フィリピン共和国籍）、締約国資格受有者承認証 船長（パナマ共和国発給）
負傷者	なし
損傷	船底部外板に破口を伴う擦過傷
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北西、風力 4、視界 良好 海象：海上 平穏、潮汐 上げ潮の中央期 日没時刻：18時39分ごろ
事故の経過	本船は、船長ほか17人（全員フィリピン共和国籍）が乗り組み、船長が操船指揮をとり、津和地島南東方沖を約12ノットの対地速力で北東進していた。 船長は、数隻の船舶を避けているうちに変針予定場所を通過したことに気付いて真針路約010°に変針した後、津和地島南東方沖のビシャゴ岩（干出岩）に接近していることに気付き、左舵を取っていたところ、衝撃を感じ、ビシャゴ岩に乗り揚げたことを知った。 本船の喫水は、船首約2.33m、船尾約5.52mであった。
分析	本船は、船長が、変針予定場所を通過したことに気付いて針路を変更した際、船位の確認を行っていなかったことから、干出岩に接近していることに気付くのが遅れ、干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
原因	本事故は、夜間、船長が、変針予定場所を通過したことに気付いて針路を変更した際、船位の確認を行っていなかったため、干出岩に接近していることに気付くのが遅れ、本船が干出岩に乗り揚げたものと考えられる。
参考	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 ・変針前後における船位の確認を徹底すること。